

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06207
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	コンピュータに任せられた地域課題解決のための統計的データ解析手法の演習					
	学問分野	番号	26	名称	社会科学系の情報	
3. 担当教員	朴 壽永 生物資源科学部 地域資源開発学科 教授					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和5年7月29日 (土) 9時00分 ~ 12時10分 (90分×2回)					
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	50人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p><b>【授業内容】</b>          せっかく得られた鉱物の原石のようなデータを平均値や出現度数のみで分析を終えた経験はありませんか？マーケティング調査や社会調査などで得られたデータの指し示す事実をより科学的に明らかにするために用いられるのが統計解析です。難しいような統計計算はもう手抜き（コンピュータに任せる）しようと言われる時代です。本講座では実際の生データ（例えば、タピオカドリンクはなぜ流行ったの？）を使った統計的データ解析手法を身に付けます。          欧米における統計教育は、統計思考力を科学技術推進の第3の腕 (the third arm: なくても生きるうえで困らないが、あると飛躍的に効率が上がる手段) として位置付けられており、学校教育の早期より、児童・生徒に、身の回りの問題の解決に統計を結び付けて思考させ、解釈させ、さらに新しい仮説の創造に至る大きな流れを、繰り返し経験させることで思考力を育成する方式を取っています。          本講座では、米国統計学会と全米数学協議会の共同カリキュラム委員会が発表した共同指針でもある、次の3つの考え方にに基づき、数字が苦手な人でも活用を意識した統計思考力（統計的問題解決力）を育成することを狙いとしています。          ① 現実に似せたデータではなく、実際の生データを使う          ② 計算の仕方を教えるよりもコンピュータを使う          ③ 数式、公式の導出はあまり重要ではない</p> <p><b>【授業計画】</b>          9:00~ 9:10 オリエンテーション          9:10~10:30 統計思考力が求められる理由          統計リテラシーにおける BuMoc の特徴と有効性の確認          10:30~10:40 休憩          10:40~12:10 BuMoc を用いた統計的データ解析の実習</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	ありません					
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 ( ) 人 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日：6月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など インターネットを閲覧できる PC やタブレットを必ず持参してください (スマホも可)。http://www.bumoc.net/document/bumoc_manual.pdf を開き、1~3 ページに従いユーザ登録を済ませてください。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。  
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講になる場合があります。